



益田岩船 by 清原

自然観察サークルの3月定例会では飛鳥駅前に集合して西飛鳥を巡りました。



飛鳥駅を出発して ① アイスプラントの見学(アイスプラント農家) ② 牽牛子塚古墳周辺 ③ 橿原市白檀町沼山古墳・近隣公園 ④ 益田の岩船 ⑤ 真弓罐子塚古墳(まゆみかんすづかこふん)周辺 ⑥ 飛鳥駅へというコースで早春の西飛鳥を巡りました。



まずアイスプラント生産農家の指宿さんのビニールハウスを訪れました。

アイスプラントというのはハマミズナ科の多肉植物の野菜です。西アジア・ヨーロッパ・アフリカの沿岸砂漠が故郷だそうです。塩を隔離するための細胞プラッター細胞を持つ塩生植物だそ

うです。塩を隔離するための細胞が葉の表面にあって、それがツブツブとしていて一見凍ったように見える様子からアイスプラントというなまえがついたそうです。アイスプラント農家の指宿さんにいただいた葉をかじってみると歯ごたえがよくパリパリしていてちょっと塩味がしました。



葉を拡大した写真に丸い水滴のように見えるものは葉の一部でプラッター細胞というそうです。アイスプラントはミネラル分が豊富でカリウム・マグネシウムなどのほかリンゴ酸やクエン酸それにβカロテンも含まれているそうです。体に大切なミネラル分を補給できる野菜ということです。



アイスプラントの見学の後、早春の光を浴びて西飛鳥の野道に生えている野草を観察しながら遺跡から遺跡へと散策しました。

牽牛子塚古墳



リニューアル途中の牽牛子塚古墳を経て檀原市の白檀町にある近隣公園(沼山古墳)で昼食をとりました。

白檀町近隣公園で昼食



公園の丘の上にある沼山古墳



益田の岩船



昼食後急な斜面をよじ登ると、目の前に古代の超巨大な石造物「岩船」が現れました。とにかく大きくて神秘的な石造物。何のために作られたのかいつ頃の物なのか、石の上部の二つの穴を眺めながら古代に思いをはせました。

今日の定例会は、早春の日差しを浴び心地よい風を受けながら森の中や野道を散策できました。



ナナホシテントウ



ノスリ

空にはノスリが飛び、草むらの中にはナホシテントウがいました。

次ページに西飛鳥を散策したときに観察した野草をコラージュ風に載せました。



キラソウ



ツクシ



ノジスミレ



シロバナタンポポ



ネコヤナギ



ボケ



タコノアシ



タチツボスミレ



オオイヌノフグリ



アケビ

桜の花の蕾ももう何時咲いてもおかしくないくらいに膨らんでいました。サクラの花は今年はずいぶん早いなと思いましたが、アケビの花ももうこんなに大きく膨らんでもう咲きそうでした。アケビは4月から5月にかけて花が咲いているのを見てきたので、本当に驚きました。

それからタンポポも咲いていました。10メートルほど離れたところにカンサイタンポポとセイヨウタンポポがともに咲いていました。花びらの枚数の違いがよくわかるので並べてみました。

西飛鳥はもうすっかり春でした。



セイヨウタンポポ



カンサイタンポポ